



連載「人権シリーズ」 輝く人権

●問い合わせ

役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920

町では、人権が尊重されるまちづくりおよび男女共同参画のまちづくりを目的に、毎年人権週間に合わせて人権を考えるみんなのつどいを開催しています。今回は昨年12月7日に町生涯学習センターで開催し、約450人が参加しました。

■男女共同参画川柳コンテスト表彰

「家庭・地域・職場の中の男女共同参画」をテーマに昨年7月に募集し、37点の応募作品の中から町男女共同参画審議会による審査の結果、8点の入選作品が決まり、当日は最優秀賞の椎葉梨江さん(室)、優秀賞の金田隆さん(大津)の表彰を行いました。入選されました8点につきまして、町のホームページおよびおおづ図書館などに展示しています。



①最優秀賞の椎葉梨江さん
②と優秀賞の金田隆さん
③椎葉さんの作品

■人権劇団「光座」による人権劇の公演
人権劇団「光座」は、小国町の子どもたちから保護者、教師、役場職員などの総勢70人で構成されています。脚本作りから照明、音響と全て自分たちで行っています。

今回公演された「焰」は日本国憲法第26条の「すべての国民は法の定めるところにより、義務教育はこれを無償とする」という条文に疑問を感じ教科書を無料にする会を結成し、市や国を相手に訴え、完全無償化となった実話を自分たちでシナリオ作成したノンフィクションの人権劇で町の子どもたちも参加しました。

参加者からは「(今では)当たり前なこと(教科書無償)が本当は当たり前ではなかったことを知った」「これからの社会を作っていく子どもたちにも観て考えてほしいと思った」という感想を聞くことができました。



人権劇「焰」より住民と教育委員会での話し合いの場面

●不法投棄は犯罪です

山林や空き地などへの廃棄物の不法投棄が発生しています。テレビなどの家電や家具などで、土地の所有者が非常に困っています。不法投棄は犯罪です。不法投棄を行った人に対しては、廃棄物処理法および大津町美しい町づくり条例の定めにより「5年以下の懲役」もしくは「1,000万円以下の罰金」、またはその両方が科せられます。

●自分の土地への不法投棄を防ぐ

不法投棄された廃棄物は、投棄した本人が処分すべきですが、誰が不法投棄したのか分からない場合は、不法投棄された土地の所有者が処分することになります。そのような事にならないように、日頃から草刈り、清掃などを行い、所有地の適正管理をお願いします。また、不法投棄された物や不法投棄の現場を発見した場合は、役場環境保全課へご連絡ください。



●省エネにご協力ください

冬はエネルギーの使用量が増えます。地球温暖化防止対策のため、家庭や事業所での、無理のない範囲での省エネにご協力ください。主な取り組みを紹介いたします。

- 冷蔵庫には物を詰め込みすぎない。無駄な開閉をしない。熱い物は冷ましてから保存する。
 - 家電は小まめに主電源を切り、長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。
 - 自動車の運転では、緩やかなスタート、加減速の少ないエコドライブを心がける。
- 詳しくは資源エネルギー庁のホームページをご覧ください。

●バッテリーの処分には注意

昨今、全国的にリチウムイオン電池およびリチウムイオン電池を使用した製品が原因の発火事故が多発しています。携帯電話、デジタルカメラ、モバイルバッテリーなどの小型廃家電は、環境保全組合の処分場では廃棄できません。お近くの電気店、もしくは一般社団法人JBRCCに相談して適切な処分方法で廃棄してください。詳しくは一般社団法人JBRCCホームページをご覧ください。
<https://www.jbrcc.com/>



連載「人権シリーズ企画」 きらめく男女

●問い合わせ

役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)7920



大津町男女共同参画審議会
委員 上田志津子さん

私は今年3月に定年退職し、現在は家事に奮闘中です。働いていたときは、家族に支えられた環境の中、思う存分仕事に没頭する事ができました。仕事から帰ったら食事ができていて、料理、洗濯、掃除など、家事のほとんどを家族がしてくれていました。

私の心の中には、どこか「自分は大事な仕事をしているんだ」という気持ちがあり、家族や家事に対して、横着な態度をとっていたのだと思います。会社には、仕事や家事を段取りよくこなし、社会と家庭のスイッチを上手に切替えて働く女性社員が大勢います。「みんな本当に大変だなあ。よく頑張っているなあ」と理解しているつもりで言っていた気がします。しかし、自分が家事をやってみて、初めて共働きや専業主婦の女性の大変さが理解で

きました。毎日、三食の食事作りや洗濯、掃除、家庭菜園作業を下手なりにやっけてはいるのですが、恐ろしい底なし沼に落ちていくような気持ちになります。どんなに頑張っても誰も褒めてくれません。しかも無給です。身体も心も本当に疲れます。しかし、これは自分で経験して初めて分かる事なのです。

世の中は、たくさんの人で構成されています。しかも自分には、未経験ゾーンの人々です。それぞれに立場、事情が違います。だからこそ「人にはそれぞれの事情があるんだなあ」と一人一人が思い、理解は難しくても側に寄り添う事ができるのなら、懐の深い社会ができるのではないのでしょうか。

男女共同参画審議会では、町内の中学校で出前講座を実施しています。私は初めての経験だったので、分かりやすく奥深い絵本の読み聞かせや、男女共同参画の話をしたりしました。この講座により、未来の大人たちに人生を生きていく上でのヒントを一つでもプレゼントできたらいいなと思って活動しています。

おおづのしごと

大津町企業連絡協議会 Vol.4

株式会社テクノフレックス 熊本工場

「ライフラインを支える製品作り」

工場全景

一般配管用フレキシブルホース

株式会社テクノフレックス熊本工場は、フレキシブルホース、伸縮管継手といった管と管を結合する部品の製造、販売を行っています。

1977年に設立され国内に5つの工場、海外に3つの工場を有しており、熊本工場は国内工場では3番目の工場として1991年に大津町中核工業団地に設置されました。

フレキシブルホース、伸縮管は金属製品でありながら柔軟かつ軽量という性能を有し、地震や地盤沈下などの大きな動きに伴う配管の伸び縮みを吸収する管継手です。

熊本工場長
川野 宏司さん

1995年に起こった阪神・淡路大震災の時に、危険物配管から油漏れや断水などの二次被害を最小に留めるなど十分な有効性が確認されています。管継手は、日々の生活に欠かせない重要なライフラインを支えています。

【企業概要】

- 所在地 菊池郡大津町高尾野272-11
- 業種 金属加工業
- 従業員数 88人
- 事業内容 管継手の製造、販売
- 連絡先 ☎096(293)3000
- ホームページ <http://www.technoflex.co.jp>